

広報イキシア64号

2014年1月1日発行

イキシアには「団結して事にあたる」という花言葉があります。やっと関心を集めるようにこの精神保健の分野に理想の福祉を実現する為にあなたの知恵と力をお貸しください。

『期待される役割』

理事長 寺田一郎

大雲寺訪問

昨年九月、イキシア 63号で京都岩倉の大雲寺への訪問予定を書きました。その計画が、8月23日にとうとう実現しました。

異常と言われるほど暑かった昨年の夏、京都駅からJR線、叡山電車鞍馬線を乗り継いで岩倉駅に降りたのは、正午に近い時刻でした。途中何度か道を間違えながら、目標としていた実相院にたどり着いたとき、シャツは汗でビショビショ状態。大雲寺は、そこから歩いて数分のところにありました。狭い墓地があるので寺院と分かる、小さなお寺でした。平安時代の最盛期と目の前の現実とのギャップはあまりにも大きい。

心を患った人たちが、滝行を行ったとされる不動の滝はほとんど水が流れていませんでした。すぐ傍には霊泉。それらの場所は、今は北山病院の敷地内です。

大雲寺は戦国時代頃から衰退を始め、実相院が支配することとなりますが、江戸時代になるとその周辺には参籠者に飲食物を提供する茶屋が登場します。その茶屋は明治になると精神病患者監護法や日本最初の公立精神病院「府立癲狂院」の創設などの流れの中で、医療なしで患者を拘束し宿泊させるだけ、として世間の批判や警察の取締りを受けることとなります。明治十七年には岩倉癲狂院が作られます（明治25年に岩倉精神病院と改称、現在の岩倉病院とは別物）。

1900（明治33）年に精神病患者監護法が発布されると、茶屋は「医療としての保養所」を目指すこととなり、岩倉の保養所は大雲寺を中心とするものから旧岩倉病院を中心とするコロニーを形成し、十数か所を数えたといえます。ここでは家族看護・生活療法が行われ、呉秀三は「ベルギー国ゲール村の精神病患者コロニーに類似している」と言っています。岩倉コロニー群は第二次大戦前

に最盛期を迎えますが戦局の悪化、終戦、昭和二五年「精神衛生法」の施行により、保養所は壊滅しました。昭和二九年、旧保養所のひとつであった若狭屋（城守保養所）は「北山病院」を開設し、医療法人三幸会として現在に至っています。

病氣と加持祈祷との関連は、日本だけのものではなく、新約聖書にもエルサレムの「ベテスタの池」のことが書かれています。

平成の現在に戻る

加持祈祷の寺院を囲むようにできた保養所も社会復帰施設もそれぞれ時代の要請がありました。そして情勢の変化に合わせた自己変革を遂げてきました。

昨年 4 月に障害者総合支援法が施行されました。その内容は障害者の範囲を 130 の難病にまで対象を拡大し、障害福祉サービスを利用できるようにしたことと、成年後見制度の利用促進や意志疎通支援の強化等地域生活支援事業の追加が中心です。自立支援法を廃止して新たな法律を作るまでもなかったと思えます。

障害程度区分から障害支援区分への変更、ケアホームとグループホームの一元化は 26 年度から施行されます。相談支援では障害福祉サービス利用者全員への利用計画書の作成は 26 年度中に完了させることになっていますが、24 年度で約 1 割、25 年度で約 3 割という状況では大量の未作成者が出るのが予想されます。計画作成の猶予期限が過ぎた 27 年度はどうなるのでしょうか。これが 27 年度問題です。相談支援専門員の疲弊は日常的になっています。相談支援の質と量が求められていますが、新規参入の事業所にそれを求めることは現実的とは言えず、支援力のある事業所の拡充を図ることが有効です。

さらに 25 年度から施行された障害者優先調達推進法、26 年度からは改正精神保健福祉法の施行、国会で審議中の（11 月末時点）生活困窮者自立支援法にも注意の必要があります。

国立病院内での新規事業

昨年 11 月に、国立病院機構下総精神医療センター（千葉市）内での新規事業立ち上げが決まりました。

旧看護学校の有効活用と病院の地域交流の促進を目的に病院が公募したのですが、ワナーホームは病院の意向把握と内部での慎重な検討を重ね、応募しました。四月には相談支援事業と就労継続支援事業を開始します。一年以内にケアホームを追加します。国立精神科病院と福祉事業の協働は国内に前例がありませんが、ワナーホームのこれまでの精神障害者に対する地域生活支援の仕上げとも言える事業です。ここから情報発信もし、千葉市内の拠点にもなってくれることを期待しています。

茂原市での就労継続支援事業所（ワークショップ茂原）が 1 月に仮オープン

します。千葉も茂原もこれまでのノウハウを活用しての展開です。今、地域で求められていることに正面から取り組む姿勢は変わりませんが、ワーナーホームに求められる役割は少しずつ変わっていくような気がしています。

『施設長を支える主任・リーダーより新年の抱負2014』

木村祐子主任（ホレブ寮厨房）



あけましておめでとうございます。ホレブ寮の1年は恒例のおせち料理とお雑煮お汁粉でスタートしました。毎年皆さんの喜んでいただけた顔を見て一年の始まりを感じます。今年も通所されている若い方から高齢になられた方まで「安全」で「おいしい」そして何よりも「楽しい」食事作りを目指して頑張ります。チーム厨房を今年もよろしくお願いします。

野老正樹主任（ホレブ寮事務）



私の抱負は「職員の働く環境をより良くすること」である。これは今年だけの抱負ではなく、機会がある度に話しており、私の仕事の大きな目的のひとつとなっている。事務の仕事は福祉業界では主役ではないが、裏方として大切な役割だと認識している。みんなが元気に、円滑に仕事ができるよう、上司をサポートし、後輩を指導していきたい。

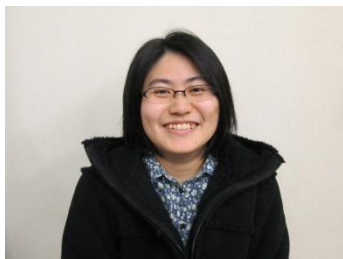
武藤朱里（ホレブ寮 主任）



2014年度は「自分自身の成長と、人材育成、時間の有効活用」の3『J』を目標とします。

制度等の情報収集や発信をすること、忙しさを理由にせず同僚の声に耳を傾け、業務がスムーズに行えるよう職員の能力を考えること、自分の業務を見直し、時間を有効活用してより業務をこなせるようになることが目的です。

秋葉千晴リーダー（ワークショップしらさと 事務）



今年度よりリーダーとなり、事務主任のもとでみんなをまとめることとなりました。

私が就職した当時と比べ事業所数は倍以上に増え、就職した当時は2人しかいなかった事務員の人数もかなり増えています。今まで培ってきた経験をみんなに伝えられるよう、ミスをしないように、丁寧な仕事を心がけていきたいと思います。

吉野彰リーダー（ワークショップ茂原）



リーダーになり自分を育てると同時に後輩も育てる役目を担っています。しかし、後輩を育てるとするのは想像以上の労力と時間が必要です。これを怠ってはやり方や方針がバラバラになってしまうため、個々の資質を捉えつつ、正確に、慎重に且つ早く指導できるようにになりたいです。また、気持ちに余裕を持たせて

楽しく仕事をしたいです。

川上葉子リーダー（障害者就業・生活支援センター山武プリオ）



昨年の4月からリーダーに就任しました。常日頃感じることは「報連相」の大切さです。必要な時に必要なタイミングで実施しないと意味がないのが「報連相」です。その仕組みの根源は「配慮・機転・想像力」ではないかと思います。2014年は「配慮・機転・想像力」をキーワードに、業務や関係性が円滑且つ効率的

になるように尽力したい。

小笠原乙貴リーダー（パンプキンハウス）



昨年4月より、キャリアパスの導入や人材育成に、より身近な立場で関わっていくことを目的とし、主任・リーダーが、その役割のひとつを担うことになりました。悩み、ぶつかり、その度に自身の資質を問うばかりですが、いつしかリーダーの存在が潤滑油となり、チームとしての機能が果たしていけるように、こ

れからも努めていきます。

北原邦子リーダー（わたげワーク）



就労移行は、就労に向けての自信と責任を養い延ばしていけるように限られた期間を有効にサポートしていきます。就労支援事業B型の一つである『P A I S I B L E』が地域の皆様に愛されるベーカリー・カフェであり続けるように美味しさと憩いの場を地域に発信していきます。今年もわたげワークスが丸となって取り組んでいきたいと思ひます。

谷川博美リーダー（たんぽぽセンター）



法改正等に伴いどのような変化が発生するか動向に気を配り、地域や社会の課題に鋭い視点を持ちつつ柔軟に対応できるよう取り組んでいきたいです。ご利用者やご家族の思いをくみ取りながら、地域で生活する全ての方が生活しやすい社会の為に。一人一人が「～したい」「こうなりたい」と意欲や希望を持てるよう共に歩んでいきたいです。

小助川佐代リーダー（たんぽぽセンター）



サービス等利用計画の全件対象化も、いよいよ3年目です。相談事業は業務の効率化と相談の質が今年も課題ですが、本年は相談の増員もあり、部署・職員間の円滑な連携作りも新たな目標です。地域に、より良い支援を拠点全体が提供できるよう、リーダーとして取り組んでいきたいと思ひます。

『カトリア会員の交流会』



昨年9月14日（土）、会員同士の親睦を深めようと、カトリア会として初めての交流会を開きました。

当日は台風襲来の前でしたが、気持ちの良い秋晴れとなり、総会時を上回るご参加をいただきました。千葉駅近くのお店にはすでに事務局のみなさんが待っていてくださいました。

寺田理事長と事務局のみなさんも輪に入って

いただきまして、食事をしながら出席者全員が自己紹介と近況などを語り合いました。終始明るい雰囲気です。散会時には口々に「楽しいひとときでした」「またお会いしましょう」などと別れを惜しみつつ帰路につきました。

席上出ましたご意見の一部を紹介します。「ホレブ寮厨房の方にとっても感謝をしている。機会があったら一日でも休んでもらえる工夫ができればいい」「家族の楽しみをもっと企画してもよいのではないか」「自分ができることはないか考えてみる」

カトリア会が利用者と家族の和みの場となり、ささえあいのできる会となるように、今後もみなさんと知恵をだしあっていきたいと思えます。(寺田 美代子)

参加された方からの感想

居酒屋での交流会ということで、皆さん堅苦しい雰囲気から解放され自己紹介も「心の中の葛藤！」を忌憚なく話されました。私自身も新たな心構えを勉強させて頂きました。今後は皆様にお目に掛かれることが楽しみです。(源 吉之助)

今回の交流会では、お互いの胸の内がかなり話せたのではないかと思います。将来に対する不安など悩みはつきませんが、今後もこのような会合を通して、問題を話し合い、情報を共有していけたら心強いと感じました。(若菜 良子)

理事長さんが、「私も介護保険が、送られてきました」と話され先人が会の設立に至った状況とその後の事務運営を担って頂いて居た事に感謝しつつ次回の参加者が増えることを願い心の居場所を見つけた 1 日でした。(大平 靖子)

初めての交流会でしたが、日頃の心労も忘れ大いに語り合いなごやかな気分です。3 時間があっという間に過ぎました。お店が駅前ということで参加者も多く有意義な交流会だったと思います。ありがとうございました。(林 孝子)

『特例子会社連絡会 ワーナーホーム見学会』



2013年11月8日(金)に千葉県特例子会社連絡会の方々20名がワーナーホームに来所され、施設見学や山武圏域自立支援協議会就労部会と合同で第四回就労部会を開催し、雇用事例紹介及び意見交換会を実施しました。就労部会会員と併せて総勢50名の方々にご参加いた

だきました。

雇用事例紹介では、山武ブリオの登録者である当事者三名が、自らの精神障害や就労経験について具体的に語って下さいました。当事者の方々に職場で日頃感じていることや自分に対して配慮してもらいたいことなどをお話しいただくことで、「精神障害者の就労」についてさまざまな見識を深めることができました。また、当事者だけでなく、雇用側である企業の方々にもインタビュー形式のビデオでご登場いただき、精神障害者の雇い入れに関するさまざまなご意見を紹介することが出来ました。千葉県特例子会社連絡会と就労部会それぞれの皆さんから、当事者の方々へ率直な質問が出され、有意義な意見交換会となりました。

その後の懇親会には 30 名が参加し、おいしい海の幸を食しながら、和やかな雰囲気での交流を深めることが出来ました。(川上)

『社会福祉法人ワーナーホーム⇄社会福祉法人ブローニュの森交換研修会』

社会福祉法人ブローニュの森

地域活動支援センターアークスフォース 駒場淳



思い出です。ありがとうございました。

不安と緊張の中実習に臨み、敷地や建物、職員の多さに圧倒されましたが、職員間での連携や利用者の面白さを知り、2日目の懇親会では冗談も織り交ぜた皆様の貴重なお話も自分の中での深い学びとなりました。新鮮な海の幸や、耳をすませば、海が聞こえる、そんな場所で寝泊まりできたことも良い

社会福祉法人ブローニュの森

多機能型事業所あしかが 石原直人



学びを当法人で活かしたいと思います。

貴重な研修の機会を頂き、皆様には大変感謝しております。ワーナーホームさんは、地域の様々なニーズから活発に事業を展開されており、スタッフさんたちのパワーに驚かされました。ワークショップしらすとで1日体験をさせて頂き、日頃のスタッフ間の連携のあり方など、振り返る機会となり、今回の

社会福祉法人ワーナーホーム 川上葉子



ブローニュの森の理念は「共・繋・生」でした。それはそのまま法人の成り立ちに由来していると感じました。他法人の理念に触れることで自分自身のワーナーホームでの在り方や立ち位置などを客観的に振り返り、見つめ直すことができました。自分の存在意義や役割を発見できる研修に参加できたことに感謝します。

社会福祉法人ワーナーホーム 小笠原乙貴



猛暑が続く8月、栃木県にある「社会福祉法人ブローニュの森」に三日間の研修に行ってきました。ブローニュの森の理念「問題課題を共有し繋がりの中で生み出す」この言葉の通り、職員と利用者がひとつになり常に地域に向け

情報を発信、地域の中で自分たちの役割をもち、共に取り組みながら生み出していく姿を随所感じてきました。私も地域で顔の見える関係性を目指し取り組んでいきます。

『緊急特集 台風26号による被害報告』

〈柏拠点の被害〉



平成二十五年十月十五日から十六日にかけて、関東に上陸した大型台風により、たんぼぼセンター・わたげワークスは床上浸水四一五cmの被害を受けました。事業所は通所施設であり、深夜から朝方にかけての被害であった為、利用者や職員に直接的な被害はありませんでしたが、当日は緊急に駆けつけた職員達で水かきに追われました。職員、利用者一丸となつての懸命な対応と、関係事業所のご協力により、わたげワークスの消毒作業は迅速に進み、翌々日からはベーカリーを再開することができました。たんぼぼセンターについても、全面床の張替えを終え、十一月以降通常稼動しております。地域の皆様、関係機関の

皆様にはご心配、お見舞いのお気持ちを頂き、地域の繋がりに改めて感謝いたしました。（大久保）

〈大網拠点の被害〉



毎年パンプキンハウスの前庭を彩ってくれた大きないちょうの木が、バッサリと折れてしまいました。とても残念です。

『千葉県精神障害者バレーボール大会』



9月25日（金）、に千葉ポートアリーナで行われた第15回千葉県精神障害者スポーツ大会ソフトバレーボール大会に利用者7名、職員2名で参加をしました。大会当日は初戦の対戦相手が大会を欠席した為、不戦勝により勝利。続く2回戦目はセットカウント2-0で勝利し、三回戦目はセットカウント0-2で惜しくも負

けてしまいました。準決勝まで駒を進める事が出来ました。ワナーズは日々の練習で第2、4土曜日に近くの小学校を借りて練習を行っていますが、大会まで中々メンバーが集まらずバレーボール未経験者、経験者問わず新チームを今回作り大会に臨みました。それでも参加されたメンバーの熱心な練習もありこのような結果を出せた事にとっても喜びを感じています。今回は準決勝で敗退してしまいましたが、これからも参加メンバーの生き生きした顔を見る事が出来る様、練習を続けていき、次年度の大会では参加メンバーと一緒に優勝カップを持って還れる様、活動を行います。（星野）

『ワークショップ茂原（就労継続支援B型）スタート』

今年 1 月、茂原市に新たな事業所がスタートしました。精神障害の方の支援を主とした通所系事業所です。

4 月のペジューブル茂原店（ベーカリー）の開店に向けて準備が始まりました。パンの製造販売、接客（レジ、ホールスタッフ）、バックヤード作業（販売用袋作成、ユニフォーム洗濯等）、作業は幅広く、個々の力を発揮できるよう工夫していきます。おいしいパンを提供できるようオープンに向けて頑張っています。

（高木）

住所 茂原市三ヶ谷 1816-1

※通所希望の方はご連絡・お問合せください。TEL 0475-27-3030（高木・吉野）

『第 21 回みんなのまつり』



みんなのまつり当日の天気予報は<終日雨>でした。ところがふたを開けてみればまるで台風のような、<大雨・大風>でした。

そんな状況の中まつりの準備は始まりました。全身ずぶ濡れになってテントを立ち上げる者や対応に走りまわる者、路面に溜まった雨水を流すために溝を掘る者、参加者の安全を確保するため必死に誘導する者、率先して出店車両から荷物を会場に運び入れる者。そして来場者や出店者の安全を確保するための避難場所を作り室内に模擬店を移動する陣頭指揮を取られた施設長の方々の姿。来場した方々の笑顔と呼び寄せたのはワナー職員たちの知恵と必死な行動でした。そして何より感謝しなければならないのは、このような大雨の中まつりに参加して下さった来賓・ボランティア・出店者・ステージ発表者、そして地域の方々がいたという事です。また雨のおかげで会場は賑やかで温かい空間となりました。

今回のみんなのまつりは最悪の状況の中でも参加者の笑顔に出会うことが出来、改めてワナーの底力を見る思いでした。（縫山）

「青空トーク」

今年のみんなのまつりの「青空トーク」は、生憎の雨でしたが、パンプキンハウスホールにて、メンタルヘルス～こころの健康～をテーマに行いました。

社会保険労務士であり産業カウンセラーである鍋木優子氏をお招きし、こころの健康について講演いただいた後、観客の皆さん全員でメンタルヘルスチェックを行いました。

メンタルヘルスチェックは質問事項への回答を点数化し、こころの健康度をチェックするものでした。寺田理事長や代表の利用者さんが壇上にあがり、チェック結果の感想を話して下さいました。鍋木優子氏のストレス対処法に関するわかりやすい説明に観客皆が熱心に耳を傾けていました。(川上)

モザイクアート



「あなたが笑顔になれる時」をテーマにみなさんにメッセージを書いてもらいワーナーホームの理念を表現しました。

ゆるキャラ優勝



「ワークにゃん」
ワークショップのみんなで、協力し優勝できてとてもうれしかったです。(遠藤)

『2014年4月新規事業立ち上げ』

(特定・一般相談支援事業、就労継続支援B型事業)

千葉市緑区の下総精神医療センター隣接の旧准看護師養成所の建物を利用させて頂き、障害福祉サービスを行うことが公募・入札を経て、11月21日

に決定しました。来年4月から特定・一般相談支援事業と就労継続支援B型事業を、その後、共同生活介護事業を行う予定でいます。国立病院と社会福祉法人が協働して精神障害者の地域移行や地域生活を支援するという新たな試みとなります。詳細は次号にお伝えします。(三好)

『ホームページリニューアル』

ワーナーホームのホームページが、リニューアルいたしました。拠点ごとの事業を見やすい形で表示しています。

今後は、新しい情報等も随時発信していきます。

ホームページアドレス

<http://www.wanahome.or.jp>

『ワーナーホームの主な動き』

【9月】

- ・秋レク～ワークショップしらさと～
- ・精神障害者ソフトバレーボール大会（千葉ポートアリーナ）
- ・第四回九十九里福祉ネットまつり出店～ワークショップしらさと～
- ・ロザリオ福祉まつり出店～ワークショップしらさと～
- ・日帰り旅行（千葉動物公園）～自立訓練～
- ・第三回山武圏域自立支援協議会就労部会（千葉聾学校見学）
- ・だいち避難訓練
- ・障害者就業・生活支援センター連絡協議会企業見学会（特別養護老人ホーム名木緑風苑見学会）～夷隅ブリオ～
- ・カトリア会員交流会
- ・プロレス（レッスルワ）慰問
- ・外出プログラム（昭和の森）～長生地域生活支援センター～

【10月】

- ・みんなのまつり
- ・障害者雇用促進合同面接会
- ・特例子会社見学会（(株)ニチレイアウラ）～山武ブリオ～
- ・外出イベント（東京都恩賜上野動物園）～たんぽぽセンター～
- ・在職者交流会（特別養護老人ホーム外房見学会）～夷隅ブリオ～
- ・プロレス観戦
- ・全体避難訓練

- ・長生村役場出張プログラム茶話会～長生地域生活支援センター～
- ・お出かけツアー（大多喜ベジタブルガーデン）～ホレブデイサービスセンター～

【11月】

- ・I J I Uフェスティバル出店（城西国際大学）～ワークショップしらさと～
- ・心の健康フェアニオー三 in 千葉出店～ワークショップしらさと～
- ・やまもも祭出店（東金特別支援学校）～ワークショップしらさと～
- ・増穂小バザー出店（増穂小学校）～ワークショップしらさと～
- ・千葉県特例子会社連絡会様～ワナーホーム見学会&意見交換会
- ・交流会～山武ブリオ～
- ・秋レク「南房総道の駅めぐり」～だいち～
- ・屋外活動（北柏ふるさと公園）～たんぽぽセンター～
- ・お出かけツアー（九十九里ヴィラそとぼう）～ホレブデイサービスセンター～
- ・「ゆめ・仕事ぴったり」事業 福岡小学校六年生六名職場体験～ホレブデイサービスセンター～
- ・大網白里中学校三名職場体験実習～ワークショップしらさと～

【12月】

- ・クリスマス会
- ・社会福祉法人プローニユの森交換研修
- ・忘年会～ワークショップしらさと～
- ・忘年会（パンプキンハウスラウンジ）～自立訓練～
- ・障害者就労促進チャレンジ事業企業向け見学会（(株)徳倉、大里総合管理(株)）～山武ブリオ～
- ・クリスマス会（たんぽぽホール）～たんぽぽセンター～
- ・在職者交流会（調理実習）～夷隅ブリオ～
- ・土気シビックウィンドオーケストラファミリーコンサート鑑賞～ホレブ寮・ケアホーム第二～
- ・年末レク・忘年会～ホレブ寮・ケアホーム第二～
- ・利用者ミーティング～長生地域生活支援センター～
- ・お出かけツアー（ユニモチはら台店）～ホレブデイサービスセンター～
- ・クリスマス会～わたげワークス～

『寄付・会費をくださった方々』

平成 25 年 8 月～平成 25 年 11 月

《寄付》

萩原衛・佐瀬あゆ美・石川庄六・吉田孝・陣内操子・滝本二三江・小池健・肥田裕久・志々見厚子・木村尚美・手塚建二・阿部敏彦・溜川重子・小口智明・大矢和男・三好玲子・外山義哉・山口満信・杉江悠子・古川亮・木村麻友香・細田智子・野田幸子・酒井範子・中田健士・橋本美枝・金城和子・勝本正實・倉重寛子・近藤昭子・立沢隆・鶴田雅之・柴崎美枝子・工藤貴正・真橋恵子・神戸紀璃慧平野一江・小川由美子・平戸晴子石原克茂・久保田文造・柏市大網白里市社協瑞穂支部・大網白里市社協白里支部・すみれ会真橋ピアノ教室・医療社団法人千歯会・自家焙煎珈琲茶珈香

《イキシア会員》

〈正会員〉

椎名寿康・飯田和子・山口知子・医療法人静光園・師井保博・立沢建設株式会社

〈賛助会員〉

伊藤法子・野口よし子・井上守・イナバソフトウェア事務所・西田佳子・佐藤繁夫・吉井知弘・宮尾美代子・泉惇・田坂信一郎・有限会社つくもタクシー・猫田陽子・西山紘子・半田弥生・日暮幹夫・中村和郎

（順不同・敬称略）

『編集後記』

あけましておめでとうございます。今年もイキシアを通してワーナーホームの最新情報を皆様にお届けできるよう頑張っていきたいと思います。2014 年もよろしく申し上げます。（1）